



2018年 春夏季展

ISSON 初公開

Tanaka Isson: A Proudly Independent Painter who Loved Amami

田中一村の絵画

奄美を愛した孤高の画家

2018 4.6 [金] - 9.24 [月・祝]

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※会期中休館日なし

入館料：一般・大学生 2,800円 小中高生 1,800円
※団体割引（10名以上）・障害者割引あり
※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料

岡田美術館
OKADA MUSEUM OF ART

バス停「小涌園」より徒歩すぐ

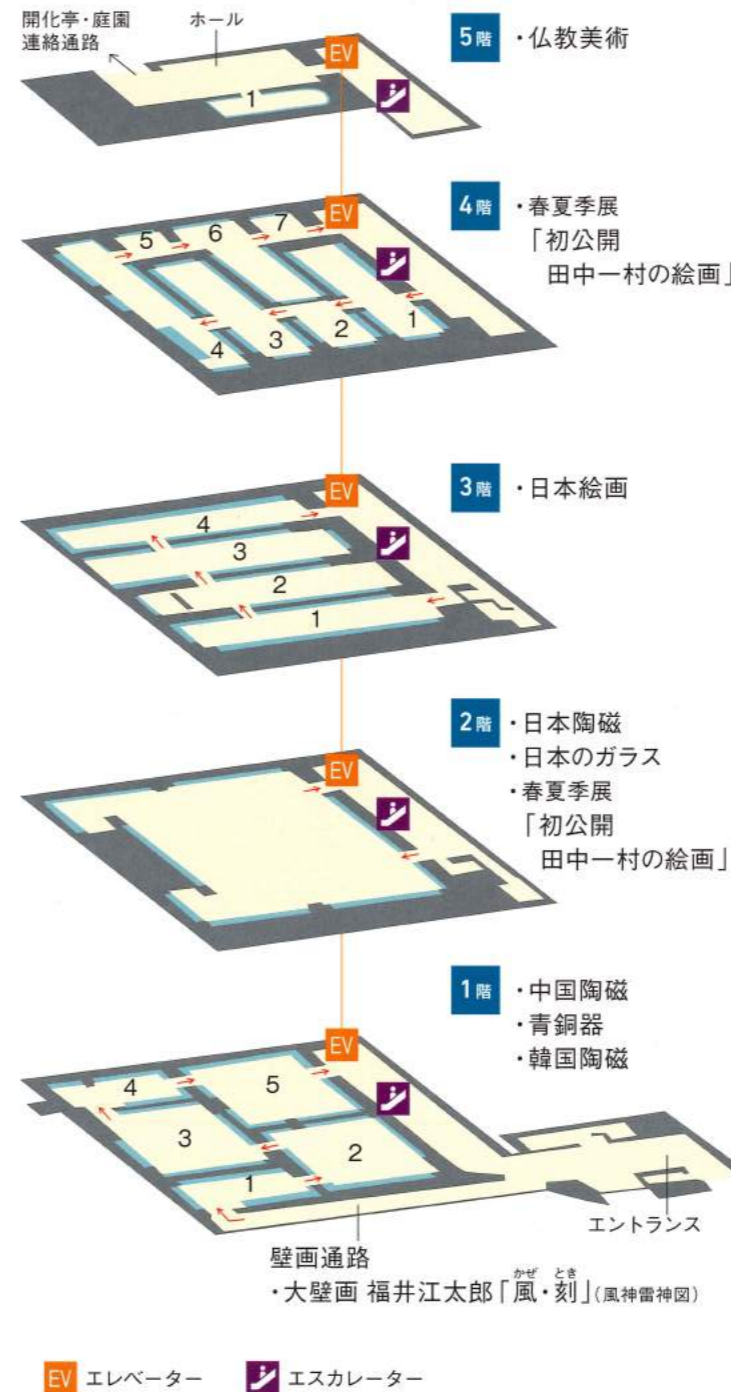
〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1
TEL: 0460-87-3931 (代表) www.okada-museum.com

田中一村「白花と赤薔薇」昭和42年（1967）©2017 Hiroshi Niiyama

若冲・魁夷も登場!

常設展示のご案内

岡田美術館は全5階、展示面積約5,000㎡の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



■5階展示室
重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など祈りの世界をご覧いただけます。



■3階展示室
四季折々の画題を描いた金屏風などを展示しています。



■2階展示室
当館で最も広い展示室で、古九谷、鍋島、日常使いの古伊万里などの多様な肥前磁器や京焼、和ガラスをご覧いただけます。



■1階展示室
中国の陶磁器と青銅器、韓国の陶磁器を展示。とりわけ古代から清朝までの歴代の中国陶磁が質・量ともに充実しています。

アクセス

〈電車・バスをご利用の場合〉

- 新宿** から
小田急線（特急ロマンスカー）約90分→箱根湯本駅
①伊豆箱根バス（のりば①）・箱根登山バス（のりば②）約20分→小涌園
②箱根登山鉄道 約35分→小涌谷駅 伊豆箱根バス・箱根登山バス 約2分→小涌園
- 東京** から
東海道新幹線「こだま」約35分→小田原駅
伊豆箱根バス（のりば⑤）・箱根登山バス（のりば③）約40分→小涌園
- 強羅** から
施設めぐりバス 約5分→小涌園

〈お車をご利用の場合〉 ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

- 東名厚木 IC → 小田原厚木道路 → 箱根 IC → 国道1号線 → 岡田美術館 [約60分]
- 東名御殿場 IC → 国道138号線 → 宮ノ下 → 国道1号線 → 岡田美術館 [約40分]



2018年 春夏季展

初公開

田中一村

奄美を愛した孤高の画家

の 絵画

ISSON



奄美の海のさかなたち ①

田中一村(1908〜77)の生誕110周年を記念し、当館収蔵の一村の作品5点を初公開する展覧会を開催いたします。一村は、生前は無名に等しかったものの、美術番組で取り上げられたことをきっかけに近年再評価の著しい画家です。50歳で奄美大島へ移住し、亡くなるまでの20年間、それまで日本画の題材となることのない奄美の生きものを写し描いて、独自の画境を拓きました。

本展では、この奄美時代に制作された稀少な作品のうち、「白花と赤翡翠」「熱帯魚三種」のほか、最高傑作と名高い「アダンの海辺」(個人蔵、展示期間8/24〜9/24)を特別に展示します。また、写生にもとづき濃密な花鳥画を描いたことで、時代を超えて一村と通じ合う伊藤若冲、東京美術学校の同級生であった東山魁夷の作品や、一村が学んだ中国画・文人画・琳派の作品、近代の花鳥画、陶磁や漆工芸も併せて紹介します。奄美を愛した孤高の画家・一村の世界を、豊富な関連作品と共に辿る展覧会です。



① 田中一村「熱帯魚三種」 昭和48年(1973)

② 田中一村「花鳥」

③ 田中一村「あざい」

④ 田中一村「アダンの海辺」 昭和44年(1969) 個人蔵(千葉市美術館寄託)

①〜④ ©2017 Hiroshi Niijima

「アダンの海辺」展示期間
8月24日(金)〜9月24日(月・祝)

本展は2階・4階にて開催

田中一村

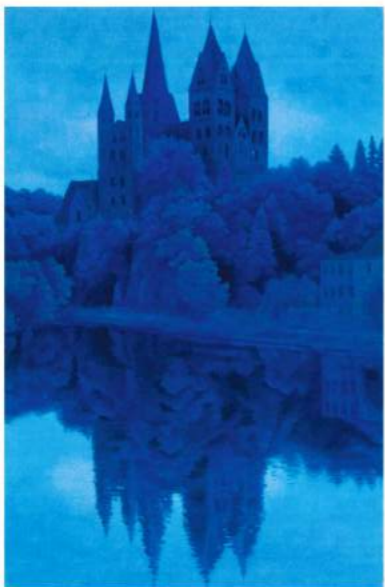
たなか いっそん

本名 田中孝。明治41年(1908)、栃木に生まれ、6歳から東京で、30歳からは千葉で過ごしました。幼少より絵に優れ、18歳で東京美術学校(現・東京藝術大学)に入学しますが、2か月余りで退学。中央画壇を活躍の場とすることなく、主に独学で制作を続け、50歳のとき単身で奄美に移住します。極めて質素な暮らしをしながら奄美の風物を描き、自らの良心が納得する絵だけを残して、昭和52年(1977)、69歳で亡くなりました。昭和59年(1984)、NHK教育テレビ「日曜美術館」での放映をきっかけに人気と評価が一気に高まり、その挑戦的な生涯と生命力あふれる作風が注目を集めています。

Tanaka Isson 1908-1977



全精力が注がれた渾身の作「アダンの海辺」



東山魁夷「朝の聖堂」 昭和46年(1971)



速水御舟「桃梨交枝」 昭和3年(1928)



伊藤若冲「花卉雄鶏図」 江戸時代中期



吳昌碩「牡丹図」 中華民國9年(1920)

Tanaka Isson : A Proudly Independent Painter who Loved Amami

講演会

◆「田中一村と生命の輝き」

2018年4月22日(日)・7月29日(日)

講師：小林忠(岡田美術館館長)

◆「一村の愛した奄美」

2018年9月16日(日)

講師：宮崎緑氏(千葉商科大学教授・田中一村記念美術館館長)

田中一村記念美術館館長)

時間：午後1時〜午後2時30分
会場：5階ホール

定員：80名

参加費：無料(要入館料)

【お申し込み方法】

電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

☎0460-87-3931

ギャラリートーク

◆館長によるギャラリートーク

毎月第1・第3水曜日開催

4月18日、5月2日・16日、

6月6日・20日、7月4日・18日、

8月1日・15日、9月5日・19日

毎週金曜日開催

◆学芸員によるギャラリートーク

4月20日〜9月14日の

毎週金曜日開催

※いずれも午前11時〜

申込不要・参加無料(要入館料)

